

2006年（平成18年）

沖縄地方の天候

平成19年1月5日 沖縄気象台

| | |
|-------------------------|---|
| 2006年の気温・降水量・日照時間 | 1 |
| 天候の経過（冬・春・夏・秋） | 2 |
| 梅雨 | 4 |
| 台風 | 5 |

【参考資料】

| | |
|-----------------------------|----|
| 観測開始からの記録更新表 | 9 |
| 2006年のヒカンザクラの開花・満開の状況 | 10 |
| 年平均気温と年降水量の経年変化 | 12 |
| 旬平均気温・旬降水量・旬間日照時間の推移 | 14 |
| 台風の発生数と接近数の経年変化 | 15 |
| 台風の発生数及び接近数とその平年値 | 15 |

本件担当：沖縄気象台業務課気候・調査室
お問い合わせ先：098 - 833 - 2186

2006年（平成18年）の沖縄地方の天候のまとめ

（天候の特徴）

- ・ 沖縄地方の年平均気温の平年差は+0.6 で、統計を開始した1928年以降では1998年に次いで2番目に高かった。
- ・ 沖縄本島地方では、梅雨前線の影響で5月から6月にかけて長雨・日照不足となり、前線の活発化による大雨で大規模な土砂災害が発生した。
- ・ 大東島地方では、台風の接近がなかったこともあって、6月中旬から10月にかけて降水量の少ない状態が続き、サトウキビなどに大きな被害が発生した。
- ・ 台風の接近が多かった石垣島地方では、台風第13号の通過による猛烈な風により、大きな被害が発生した。
- ・ 11月は、前線の影響で大気の状態が不安定となりやすく、沖縄本島地方で突風や降ひょうが発現し、竜巻による大きな被害が発生した。

1 2006年の気温・降水量・日照時間

沖縄地方の年平均気温の地域平均平年差は+0.6 で「かなり高い」¹、年降水量の地域平均平年比は105%で「平年並」、年間日照時間の地域平均平年比は93%で「少ない」となって、高温・並雨・寡照だった。

表1 2006年の平均気温、降水量及び日照時間

| | 気温 () | 平年差 () | 階級 | 降水量 (mm) | 平年比 (%) | 階級 | 日照時間 (h) | 平年比 (%) | 階級 |
|-------|-----------|------------|----|-------------|------------|----|-------------|------------|----|
| 那 覇 | 23.5 | +0.8 | | 2068.0 | 102 | 0 | 1620.8 | 89 | |
| 久 米 島 | 23.3 | +0.6 | | 2226.0 | 104 | 0 | 1645.4 | 94 | - |
| 宮 古 島 | 23.9 | +0.6 | | 2242.0 | 111 | + | 1658.8 | 94 | - |
| 石 垣 島 | 24.6 | +0.6 | | 1905.5 | 92 | - | 1635.5] | × | × |
| 与那国島 | 24.1 | +0.5 | | 2782.5 | 118 | + | 1473.6 | 93 | - |
| 南大東島 | 23.8 | +0.7 | | 1143.0 | 69 | | 2171.3 | 105 | + |
| 沖縄地方 | | +0.6 | | | 105% | 0 | | 93% | - |

（注）1. 「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。

：かなり高い(多い)

＋：高い(多い)

0：平年並

－：低い(少ない)

：かなり低い(少ない)

2. 「降水量」欄の は無降水を示す。

3. 沖縄地方の平年差(比)とは、那覇・久米島・宮古島・石垣島・与那国島の5地点の平年差(比)の平均値を示す。

4. "]"付きの値は準完全値(欠測を含むが許容する資料数を満たす)を意味する。

5. "]"付きの値は資料不足値(欠測を含み許容する資料数を満たさない)を意味し、資料不足値に対しては平年差(比)を求めない。

6. 表中のデータは気象官署(气象台、測候所等)における値である。

¹ カギ括弧「」は階級を示す。階級の詳細は表1の注釈を参照のこと。

(1) 気温

年平均気温の地域平均平年差は+0.6 で「かなり高い」となり、統計を開始した 1928 年以降では、1998 年の+1.5 に次いで 2 番目に高い値（1999 年、2001 年、2006 年は同じ値）となった。地点別では全ての地点で平年値を上回った。

月平均気温は、全ての月で「平年並」以上となり、特に 5 月は太平洋高気圧の勢力が平年より強かったため、+0.9 で「かなり高い」となった。

(2) 降水量

年降水量の地域平均平年比は 105% で「平年並」となった。地点別では石垣島、南大東島で平年値を下回った他は平年値を上回った。

月降水量は、高気圧の範囲内で晴れの日が多かった 8 月（平年比 45%）と 10 月（平年比 16%）および 2 月（平年比 99%）で平年値を下回った他は平年値を上回った。

(3) 日照時間

年間日照時間の地域平均平年比は 93% で「少ない」となった。地点別では南大東島で平年値を上回った他は平年値を下回った。

月間日照時間では、9 月が平年比 75% で「かなり少ない」となった。

2 天候の経過

(1) 冬（2005 年 12 月～2006 年 2 月）

12 月中旬から 1 月上旬にかけて大陸高気圧の張り出しで寒気が流入し、気温の低い状態が続いた。特に 12 月中旬の平均気温は「かなり低い」となったが、1 月中旬以降は、寒気の影響を受けにくく、気温の高い日が多かった。

冬の 3 か月間としては、高温・並雨・寡照となった。

表 2 2005 年 12 月～2006 年 2 月の 3 か月間の平均気温、降水量及び日照時間

| | 平均気温 () | 平年差 () | 階 級 | 降水量 (mm) | 平年比 (%) | 階 級 | 日照時間 (h) | 平年比 (%) | 階 級 |
|---------|-------------|------------|--------|---------------|--------------|--------|---------------|--------------|--------|
| 那 覇 | 17.7 | +0.5 | + | 404.5 | 119 | + | 231.8 | 79 | |
| 久 米 島 | 17.5 | +0.3 | 0 | 507.5 | 120 | + | 198.2 | 82 | - |
| 宮 古 島 | 18.7 | +0.4 | 0 | 406.5 | 96 | 0 | 200.8 | 79 | |
| 石 垣 島 | 19.4 | +0.5 | + | 459.5 | 115 | + | 202.5 | 80 | - |
| 与 那 国 島 | 18.9 | +0.2 | 0 | 523.0 | 94 | 0 | 118.2 | 72 | |
| 南大東島 | 18.4 | +0.3 | 0 | 178.0 | 58 | - | 318.8 | 93 | 0 |
| 沖縄地方 | | +0.4 | + | | 109% | 0 | | 78% | - |

(2) 春（2006 年 3 月～5 月）

3 月から 4 月上旬にかけては、気圧の谷と高気圧が交互に通じ、天気は周期的に変化した。5 月 14 日の梅雨入り以降は、梅雨前線の影響を受け曇りや雨の日が多かった。

5 月は平年より太平洋高気圧の勢力が強く、平均気温が「かなり高い」となった。

春の 3 か月間としては、高温・多雨・寡照となった。

表3 2006年3月～5月の3か月間の平均気温、降水量及び日照時間

| | 平均気温 () | 平年差 () | 階級 | 降水量 (mm) | 平年比 (%) | 階級 | 日照時間 (h) | 平年比 (%) | 階級 |
|------|-------------|------------|----|-------------|------------|----|-------------|------------|----|
| 那 覇 | 21.5 | +0.3 | + | 751.5 | 131 | + | 357.5 | 91 | 0 |
| 久米島 | 21.5 | +0.2 | + | 740.5 | 111 | + | 337.5 | 94 | 0 |
| 宮古島 | 22.5 | +0.3 | + | 663.0 | 128 | + | 367.1 | 94 | 0 |
| 石垣島 | 23.6 | +0.5 | + | 465.5 | 92 | 0 | 351.5 | 86 | - |
| 与那国島 | 23.2 | +0.4 | + | 762.0 | 135 | + | 279.2 | 87 | - |
| 南大東島 | 21.7 | +0.2 | 0 | 314.5 | 81 | - | 495.5 | 102 | 0 |
| 沖縄地方 | | +0.3 | + | | 119% | + | | 90% | - |

(3) 夏(2006年6月～8月)

6月は梅雨前線が沖縄近海に停滞することが多かったため、沖縄本島地方で長雨や日照不足が顕著であった。梅雨明け後は太平洋高気圧におおわれて晴れの日が多かった。南大東島では6月13日以降、久米島では7月10日以降、降水量の少ない状態となった。

この期間の沖縄県への台風の接近数²は5個(6月～8月の平年は4.4個)だった。夏の3か月間としては、並温・並雨・寡照となった。

表4 2006年6月～8月の3か月間の平均気温、降水量及び日照時間

| | 平均気温 () | 平年差 () | 階級 | 降水量 (mm) | 平年比 (%) | 階級 | 日照時間 (h) | 平年比 (%) | 階級 |
|------|-------------|------------|----|-------------|------------|----|-------------|------------|----|
| 那 覇 | 28.4 | +0.6 | + | 589.5 | 93 | 0 | 581.2 | 89 | - |
| 久米島 | 28.2 | +0.4 | + | 584.5 | 99 | 0 | 641.3 | 97 | 0 |
| 宮古島 | 28.0 | +0.1 | 0 | 688.0 | 121 | + | 642.6 | 96 | 0 |
| 石垣島 | 28.7 | 0.0 | 0 | 534.0 | 90 | 0 | 626.0 | x | x |
| 与那国島 | 27.9 | -0.2 | 0 | 537.5 | 104 | 0 | 623.1 | 92 | - |
| 南大東島 | 28.4 | +0.9 | | 277.0 | 53 | - | 816.0 | 115 | |
| 沖縄地方 | | +0.2 | 0 | | 101% | 0 | | 94% | - |

(4) 秋(2006年9月～11月)

9月上旬から中旬にかけて気圧の谷や前線および台風第13号の影響で多雨寡照となったが、その後は11月上旬にかけて高気圧におおわれて少雨多照となった。11月中旬から下旬にかけては前線の接近などに伴い各地点でまとまった降水があった。このため、11月は、久米島で165.0mm(124%)、南大東島で139.0mm(平年比112%)の月降水量を観測した。また、9月下旬頃から少雨となっていた宮古島でも11月の月降水量が188.0mm(平年比135%)となっており、これらの地方の少雨の状態は解消に向かった。

なお、11月中旬～下旬には前線の影響で大気の状態が不安定となっており、18日(名護市)と22日(東村)に竜巻が発生し、またひょうも22日(名護市・伊是名村)と26日(久米島町)に降った。

この期間の沖縄県への台風の接近数は1個(9月～11月の平年は2.7個)だった。秋の3か月間としては、高温・並雨・並照となった。

² 台風の沖縄県への接近とは台風が中心が那覇、名護、久米島、南大東島、宮古島、石垣島、西表島及び与那国島のいずれかの気象官署等から300km以内を通過することをいう。

表5 2006年9月～11月の3か月間の平均気温、降水量及び日照時間

| | 気 温 () | 平年差 () | 階 級 | 降 水 量 (mm) | 平年比 (%) | 階 級 | 日 照 時 間 (h) | 平年比 (%) | 階 級 |
|-------|------------|------------|--------|---------------|------------|--------|----------------|------------|--------|
| 那 覇 | 25.6 | +1.0 | | 291.0 | 60 | - | 465.4 | 96 | - |
| 久 米 島 | 25.2 | +0.7 | | 483.5 | 106 | 0 | 480.4 | 101 | 0 |
| 宮 古 島 | 25.4 | +0.6 | + | 476.0 | 92 | 0 | 445.8 | 99 | 0 |
| 石 垣 島 | 26.1 | +0.7 | | 369.5 | 65 | | 431.6 | 91 | - |
| 与那国島 | 25.5 | +0.6 | + | 864.0 | 120 | + | 421.7 | 103 | 0 |
| 南大東島 | 25.8 | +0.7 | | 243.0 | 57 | - | 569.8 | 107 | + |
| 沖縄地方 | | +0.7 | + | | 89% | 0 | | 98% | 0 |

3 梅雨

- (1) 梅雨入り：5月14日ごろ（平年5月8日ごろ、昨年5月2日ごろ）
- (2) 梅雨明け：6月20日ごろ（平年6月23日ごろ、昨年6月27日ごろ）
- (3) 特徴

沖縄の梅雨入りは平年より6日遅く、梅雨明けは平年より3日早かった。降水量は後半に多かった。日照時間は少なかった。

5月は期間前半、高気圧の範囲内で晴れの日が多かったが、期間後半から6月前半にかけては梅雨前線が沖縄近海に停滞することが多かった。このため大東島地方を除く各地方では曇りや雨の日が多く、長雨と日照不足となった。また、沖縄本島の中城村や那覇市では、大雨の影響も重なって大規模な土砂災害が発生した（5月14日～6月20日の梅雨期間における日降水量1mm以上の日数と日照時間参照）。

表6 2006年の梅雨期間の日降水量1mm以上の日数と日照時間

| 地 点 | 日降水量1mm以上の日数 | | 日照時間 | |
|-------|--------------|--------|--------|--------|
| | 実況値(日) | 平年値(日) | 実況値(h) | 平年比(%) |
| 那 覇 | 23 | 14.5 | 105.8 | 55 |
| 名 護 | 23 | 15.6 | 99.2 | 57 |
| 久 米 島 | 22 | 15.5 | 87.1 | 48 |
| 南大東島 | 14 | 13.6 | 218.4 | 97 |
| 宮 古 島 | 21 | 13.1 | 115.0 | 56 |
| 石 垣 島 | 17 | 13.7 | 132.9 | 61 |
| 西 表 島 | 24 | 14.4 | 128.4 | 69 |
| 与那国島 | 23 | 15.5 | 91.6 | 49 |

表7 2006年の梅雨期間及び5月～6月の2か月間の降水量

| 地 点 | 梅雨期間 (5月14日～6月20日) | 5月～6月(2か月間) | | |
|-------|-----------------------|-------------|--------|---------|
| | 降水量(mm) | 降水量(mm) | 平年比(%) | 平年値(mm) |
| 那 覇 | 599.0 | 667.0 | 150.0 | 445.4 |
| 久 米 島 | 603.0 | 633.0 | 123.0 | 515.4 |
| 宮 古 島 | 532.5 | 553.0 | 143.0 | 386.1 |
| 石 垣 島 | 345.5 | 351.0 | 86.0 | 407.1 |
| 与那国島 | 634.0 | 659.5 | 164.0 | 401.7 |
| 南大東島 | 293.5 | 312.5 | 83.0 | 374.8 |

4 台風

今年の台風の発生数は、23 個（平年 26.7 個）と少なく、沖縄県への接近数は 6 個（平年 7.0 個）だった。

今年、沖縄県へ接近した台風はいずれも先島諸島方面へ進み、南大東島へ接近した台風がなかった（南大東島へ接近しなかったのは 1995 年以來 11 年ぶり）。その要因としては、梅雨明け以降太平洋高気圧の西への張り出しが平年に比べ強く（図 1）沖縄本島・大東島地方は太平洋高気圧におおわれ、先島諸島が高気圧の周辺部となることが多かったことが考えられる。

図 1 は、7 月から 9 月の 3 か月間平均の 500hPa 面の高度を示した天気図で、太平洋高気圧の勢力範囲を示す 5880m の等高度線が東シナ海まで張り出している。また、図 2 は同じ期間に沖縄県へ接近した台風の経路図である。両図を比べると、台風は 5880m の等高度線に沿って進み先島諸島に接近したことがわかる。一方、大東島地方は 5880m の等高度線内にあり、台風が接近しにくかったことがわかる。

このように、大東島地方では台風の接近がなかったこともあって、6 月 13 日以降、降水量の少ない状態が続き、サトウキビの生育状態が悪化、枯死するなどの被害が発生した。

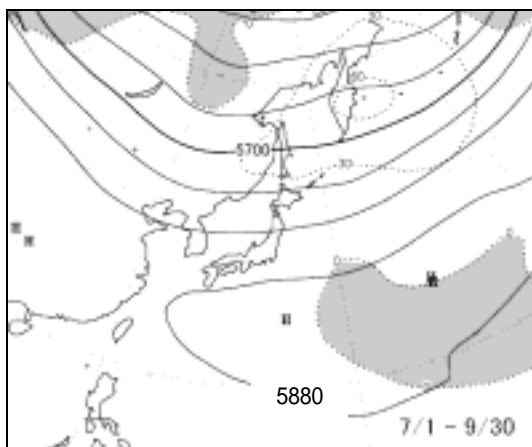


図 1 7 月～9 月の 3 か月間平均の 500hPa 面の高度等値線間隔は高度（実線）が 60m、平年差（破線）が 30m である。陰影部は高度が平年より低い領域を示す。

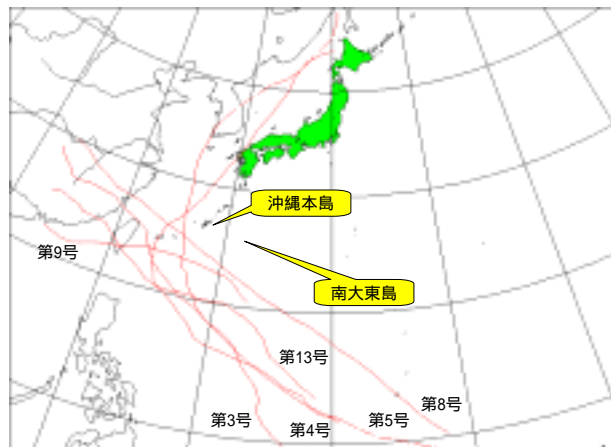


図 2 7 月～9 月に沖縄地方へ接近した台風の経路図
細実線は台風の経路を示す。

(1) 沖縄県へ接近した台風

- 7 月（3 個） 台風第 3 号、第 4 号、第 5 号
- 8 月（2 個） 台風第 8 号、第 9 号
- 9 月（1 個） 台風第 13 号

(2) 気象概況および台風が最も接近した気象官署の観測記録

台風第 3 号

7 月 1 日 03 時にカロリン諸島で発生し、発達しながら北西へ進んだ。3 日にはフィリピンの東海上に達し、中心付近の最大風速が 30m/s となり風速 25m/s 以上の暴風域を持つようになった。8 日宵のうちには宮古島に最接近し、宮古島と久米島の間を通過して東シナ海を北上した。

宮古島

| | |
|--------------------|------------|
| 最低海面気圧：979.2hPa | 7月8日19時52分 |
| 最大風速：北の風 17.1m/s | 7月8日17時50分 |
| 最大瞬間風速：北の風 31.4m/s | 7月8日17時46分 |
| 期間降水量：90.0mm | 7月7日～9日 |

台風第4号

7月9日15時にフィリピンの東海上で発生し、発達しながら北西へ進んだ。12日には先島諸島の南海上へ進み、中心付近の最大風速が30m/sのまま勢力を維持しながら北西に進んだ。13日夕方から宵のうちにかけて与那国島の西の海上約30kmに達し、与那国島に最も接近した。その後台風は東シナ海を大陸に向かって北西に進み、14日午後には華南に上陸した。

なお、台風の暴風域・強風域の範囲が広く、比較的ゆっくりとした速度で進んだため、先島諸島では長い時間暴風域に巻き込まれた。

与那国島

| | |
|----------------------|-------------|
| 最低海面気圧：976.1hPa | 7月13日18時47分 |
| 最大風速：南の風 24.4m/s | 7月14日04時20分 |
| 最大瞬間風速：南南西の風 39.7m/s | 7月14日15時12分 |
| 期間降水量：42.5mm | 7月11日～15日 |

台風第5号

7月19日21時にフィリピンの東海上で発生し、発達しながら北西に進んだ。24日の夜遅くから25日朝のうちにかけて与那国島が台風の強風域内に入り、台湾に上陸した後台湾海峡を通過して、午後には華南へ上陸した。

与那国島

| | |
|---------------------|-------------|
| 最低海面気圧：999.3hPa | 7月24日18時37分 |
| 最大風速：南東の風 14.0m/s | 7月25日04時50分 |
| 最大瞬間風速：南東の風 23.7m/s | 7月25日04時45分 |
| 期間降水量：0.0mm | 7月24日～25日 |

台風第8号

8月5日21時にマリアナ諸島で発生し、発達しながら台風第9号の後を追うように北西へ進んだ。9日には宮古島の東海上に達し、中心付近の最大風速が50m/sで非常に強い勢力となった。その後、宵のうちには宮古島の北東約60kmに達し、宮古島に最も接近した。10日には東シナ海を通過して華中に上陸した。

宮古島

| | |
|--------------------|------------|
| 最低海面気圧：988.5hPa | 8月9日20時13分 |
| 最大風速：南西の風 14.6m/s | 8月9日21時30分 |
| 最大瞬間風速：西の風 24.9m/s | 8月9日20時08分 |
| 期間降水量：37.5mm | 8月9日～10日 |

台風第9号

8月6日21時に日本の南海上で発生し、やや発達しながら西北西に進んだ（確認すること）。8日朝のうちには宮古島の南約170kmの海上に進み、同日昼過ぎには石垣島の南約120kmの海上に達し、石垣島に最も接近した。その後台湾に上陸した後9日昼前には台湾海峡を通過した。

石垣島

| | |
|----------------------|------------|
| 最低海面気圧：996.5hPa | 8月8日14時29分 |
| 最大風速：東北東の風 15.0m/s | 8月8日13時20分 |
| 最大瞬間風速：東北東の風 26.0m/s | 8月8日13時23分 |
| 期間降水量：25.0mm | 8月7日～8日 |

台風第13号

9月10日21時にフィリピンの東海上で発生し、発達しながら北西へ進み、12日夜には、北緯20度線まで北上したあと進路を西へ変えて先島諸島の南海上へ進んだ。14日夜には進路を徐々に北寄りに変えながら更に発達して石垣島地方へ向かい、16日明け方から朝のうちにかけて石垣島地方を通過した。その後、進路を北東へ変えて久米島の西の海上を九州へ向かって北東進した。

石垣島地方では、16日明け方には波照間と西表島に続いて石垣島の一部が台風の眼に入り、その後の猛烈な吹き返しの風により大きな被害が発生した。

石垣島

| | |
|----------------------|-------------|
| 最低海面気圧：926.4hPa | 9月16日06時18分 |
| 最大風速：南西の風 48.2m/s | 9月16日06時50分 |
| 最大瞬間風速：西南西の風 67.0m/s | 9月16日07時19分 |
| 期間降水量：181.0mm | 9月15日～16日 |

西表島

| | |
|---------------------|-------------|
| 最低海面気圧：923.8hPa | 9月16日05時02分 |
| 最大風速：西北西の風 39.1m/s | 9月16日07時40分 |
| 最大瞬間風速：北東の風 69.9m/s | 9月16日04時22分 |
| 期間降水量：314.0mm | 9月15日～16日 |

【参考資料】

表 8 月平均気温・月降水量・月間日照時間の観測開始からの記録更新表

表 9 日統計値に関する観測開始からの記録更新表

表 10 年平均気温・年降水量・年間日照時間の観測開始からの記録更新表

表 11 2006 年のヒカンザクラの開花・満開の状況

図 3 沖縄地方における年平均気温の地域平均平年差の経年変化

図 4 沖縄地方における年降水量の地域平均平年比の経年変化

図 5 沖縄地方における旬平均気温の地域平均平年差の推移

図 6 沖縄地方における旬降水量の地域平均平年比の推移

図 7 沖縄地方における旬間日照時間の地域平均平年比の推移

図 8 台風の年間発生数と沖縄地方への年間接近数の経年変化

表 12 台風の月間（年間）発生数及び沖縄地方への月間（年間）接近数とその平年値

表 8 月平均気温・月降水量・月間日照時間の観測開始からの記録更新表
 (各地点での歴代3位まで、“*”はタイ記録を示す)

月平均気温の高い方から

| | 順位 | 地点名 | 平均気温 | 平年差 | これまでの最高 (西暦年) | 月平均気温 の統計開始 | 平年値 |
|-----|----|------|-------|------|------------------|----------------|------|
| 1月 | 3位 | 名護 | 17.5 | +1.2 | 17.9 (1998) | 1974年1月 | 16.3 |
| 7月 | 2位 | 南大東島 | 29.2 | +1.0 | 29.7 (1991) | 1947年1月 | 28.2 |
| 8月 | 3位 | 南大東島 | 29.0* | +1.1 | 29.5 (1998) | 1947年1月 | 27.9 |
| 10月 | 2位 | 西表島 | 26.1* | +1.1 | 26.2 (1975) | 1954年2月 | 25.0 |
| 11月 | 3位 | 西表島 | 23.5 | +1.3 | 23.7 (2003) | 1954年2月 | 22.2 |

月平均気温の低い方から

なし

月降水量の多い方から

| | 順位 | 地点名 | 降水量 mm | 平年比 % | これまでの最大 mm (西暦年) | 月降水量 の統計開始 | 平年値 mm |
|-----|----|-----|-----------|----------|---------------------|---------------|-----------|
| 11月 | 2位 | 名護 | 286.0 | 214 | 298.5 (1980) | 1974年1月 | 133.9 |

月降水量の少ない方から

| | 順位 | 地点名 | 降水量 mm | 平年比 % | これまでの最小 mm (西暦年) | 月降水量 の統計開始 | 平年値 mm |
|-----|----|------|-----------|----------|---------------------|---------------|-----------|
| 8月 | 1位 | 久米島 | 30.5* | 15 | 30.5 (1991) | 1958年7月 | 203.4 |
| 10月 | 1位 | 宮古島 | 8.5 | 5 | 19.4 (1960) | 1938年1月 | 174.2 |
| | 1位 | 西表島 | 24.5 | 11 | 35.0 (1990) | 1954年2月 | 225.7 |
| | 2位 | 石垣島 | 17.5 | 10 | 17.3 (1966) | 1897年1月 | 183.2 |
| | 3位 | 与那国島 | 38.0 | 15 | 16.3 (1962) | 1956年11月 | 243.3 |

月間日照時間の多い方から

| | 順位 | 地点名 | 日照時間 h | 平年比 % | これまでの最大 h (西暦年) | 月間日照時間 の統計開始 | 平年値 h |
|-----|----|------|-----------|----------|--------------------|-----------------|----------|
| 10月 | 1位 | 西表島 | 205.0 | 166 | 198.2 (1987) | 1958年8月 | 123.5 |
| | 3位 | 南大東島 | 222.2 | 125 | 228.7 (1969) | 1947年1月 | 178.4 |
| | 3位 | 与那国島 | 194.9 | 141 | 210.0 (1982) | 1957年1月 | 137.9 |

月間日照時間の少ない方から

| | 順位 | 地点名 | 日照時間 h | 平年比 % | これまでの最小 h (西暦年) | 月間日照時間 の統計開始 | 平年値 h |
|-----|----|-----|-----------|----------|--------------------|-----------------|----------|
| 9月 | 1位 | 石垣島 | 130.3 | 64 | 134.2 (2001) | 1899年1月 | 203.6 |
| | 2位 | 宮古島 | 144.8 | 75 | 125.6 (2001) | 1938年1月 | 193.0 |
| | 3位 | 久米島 | 162.5 | 80 | 125.6 (2001) | 1958年7月 | 203.9 |
| 12月 | 3位 | 名護 | 73.7 | 60 | 42.4 (1974) | 1974年1月 | 123.7 |

表9 日統計値に関する観測開始からの記録更新表
(各地点での歴代1位のみ、“*”はタイ記録を示す。)

月別の記録

| | 地点名 | 対象項目 | 観測値 | 観測日 | 項目別 統計開始 |
|-----|------|-------------------|----------|--------|-------------|
| 1月 | 名護 | 日最低気温の高い方から() | 20.6 | 1月20日 | 1967年1月 |
| 2月 | 久米島 | 日最高気温の高い方から() | 26.8 | 2月16日 | 1958年7月 |
| 4月 | 与那国島 | 日最高気温の高い方から() | 30.3 | 4月11日 | 1956年11月 |
| | 名護 | 日最小相対湿度(%) | 18 | 4月3日 | 1972年1月 |
| 5月 | 名護 | 日最低気温の高い方から() | 25.9 | 5月18日 | 1967年1月 |
| 6月 | 与那国島 | 日最大10分間降水量(mm) | 26.5 | 6月18日 | 1956年11月 |
| 7月 | 石垣島 | 日最高気温の高い方から() | 35.3* | 7月7日 | 1897年1月 |
| | 那覇 | 日最高気温の高い方から() | 35.0 | 7月6日 | 1927年6月 |
| 9月 | 西表島 | 日最大風速(16方位、m/s) | 西北西 39.1 | 9月16日 | 1972年1月 |
| | 西表島 | 日最大瞬間風速(16方位、m/s) | 北東 69.9 | 9月16日 | 1972年1月 |
| | 西表島 | 日降水量(mm) | 265.5 | 9月16日 | 1954年2月 |
| | 西表島 | 日最小相対湿度(%) | 44* | 9月26日 | 1957年7月 |
| | 石垣島 | 日最大瞬間風速(16方位、m/s) | 西南西 67.0 | 9月16日 | 1941年6月 |
| | 名護 | 日最大10分間降水量(mm) | 21.0 | 9月4日 | 1967年1月 |
| | 名護 | 日最大1時間降水量(mm) | 61.0 | 9月3日 | 1967年1月 |
| | 名護 | 日最小相対湿度(%) | 36 | 9月21日 | 1972年1月 |
| | 南大東島 | 日最小相対湿度(%) | 35 | 9月21日 | 1957年7月 |
| 11月 | 西表島 | 日最小相対湿度(%) | 36 | 11月12日 | 1957年7月 |
| | 名護 | 日最大10分間降水量(mm) | 21.0 | 11月22日 | 1967年1月 |
| | 名護 | 日最大1時間降水量(mm) | 58.5 | 11月22日 | 1967年1月 |
| | 南大東島 | 日最小相対湿度(%) | 36 | 11月12日 | 1957年7月 |
| 12月 | 名護 | 日最大10分間降水量(mm) | 23.5 | 12月7日 | 1967年1月 |
| | 名護 | 日最大1時間降水量(mm) | 54.0 | 12月7日 | 1967年1月 |

年間の記録

| | 地点名 | 対象項目 | 観測値 | 観測日 | 項目別 統計開始 |
|--|-----|-------------------|---------|-------|-------------|
| | 名護 | 日最小相対湿度(%) | 18 | 4月3日 | 1972年1月 |
| | 西表島 | 日最大瞬間風速(16方位、m/s) | 北東 69.9 | 9月16日 | 1972年1月 |

表 10 年平均気温・年降水量・年間日照時間の観測開始からの記録更新表

(各地点での歴代3位まで、“*”はタイ記録を示す)

年平均気温の高い方から

| 順位 | 地点名 | 平均気温 | 平年差 | これまでの最高 (西暦年) | 年平均気温 の統計開始 | 平年値 |
|----|------|-------|------|------------------|----------------|------|
| 2位 | 西表島 | 24.1 | +0.7 | 24.5(1998) | 1955年1月 | 23.4 |
| 2位 | 石垣島 | 24.6 | +0.6 | 25.4(1998) | 1897年1月 | 24.0 |
| 2位 | 宮古島 | 23.9* | +0.6 | 24.8(1998) | 1938年1月 | 23.3 |
| 2位 | 久米島 | 23.3* | +0.6 | 24.2(1998) | 1959年1月 | 22.7 |
| 2位 | 那覇 | 23.5* | +0.8 | 24.4(1998) | 1928年1月 | 22.7 |
| 2位 | 名護 | 23.0 | +0.5 | 23.8(1998) | 1974年1月 | 22.5 |
| 2位 | 南大東島 | 23.8* | +0.7 | 24.7(1998) | 1947年1月 | 23.1 |

年平均気温の低い方から

なし

年降水量の多い方から

なし

年降水量の少ない方から

| 順位 | 地点名 | 降水量 mm | 平年比 % | これまでの最小 mm(西暦年) | 年降水量 の統計開始 | 平年値 mm |
|----|------|-----------|----------|--------------------|---------------|-----------|
| 2位 | 南大東島 | 1143.0 | 69 | 1050.0(2002) | 1947年1月 | 1649.8 |

年間日照時間の多い方から

なし

年間日照時間の少ない方から

なし

表 11 2006年のヒカンザクラの開花・満開の状況

| 地点名 | 開花日 | 平年 | 平年差 | 満開日 | 平年 | 平年差 |
|------|-------|-------|------|-------|-------|-------|
| 那覇 | 1月13日 | 1月19日 | 6日早い | 1月24日 | 2月4日 | 11日早い |
| 南大東島 | 1月15日 | 1月19日 | 4日早い | 1月27日 | 2月1日 | 5日早い |
| 宮古島 | 1月19日 | 1月18日 | 1日遅い | 1月31日 | 2月9日 | 9日早い |
| 石垣島 | 1月15日 | 1月15日 | 同じ | 2月2日 | 2月4日 | 2日早い |
| 与那国島 | 1月27日 | 1月31日 | 4日早い | 1月31日 | 2月18日 | 18日早い |

1 沖縄地方の平均気温と降水量の経年変化

(1) 年平均気温

2006年の沖縄地方における年平均気温の地域平均平年差は+0.6 で「かなり高い」となった。年別の変化傾向(緑色の棒グラフ)を見ると1980年代の中頃までは「低い」年が多かったが、その後は「高い」年が多くなっている。5年移動平均(赤色の実線)を見ると1970年代の中頃以降の昇温傾向が顕著である。1928年の統計開始以降の長期変化傾向(黒色の実線)としては78年間に約1.1 の割合で上昇している(図3)。

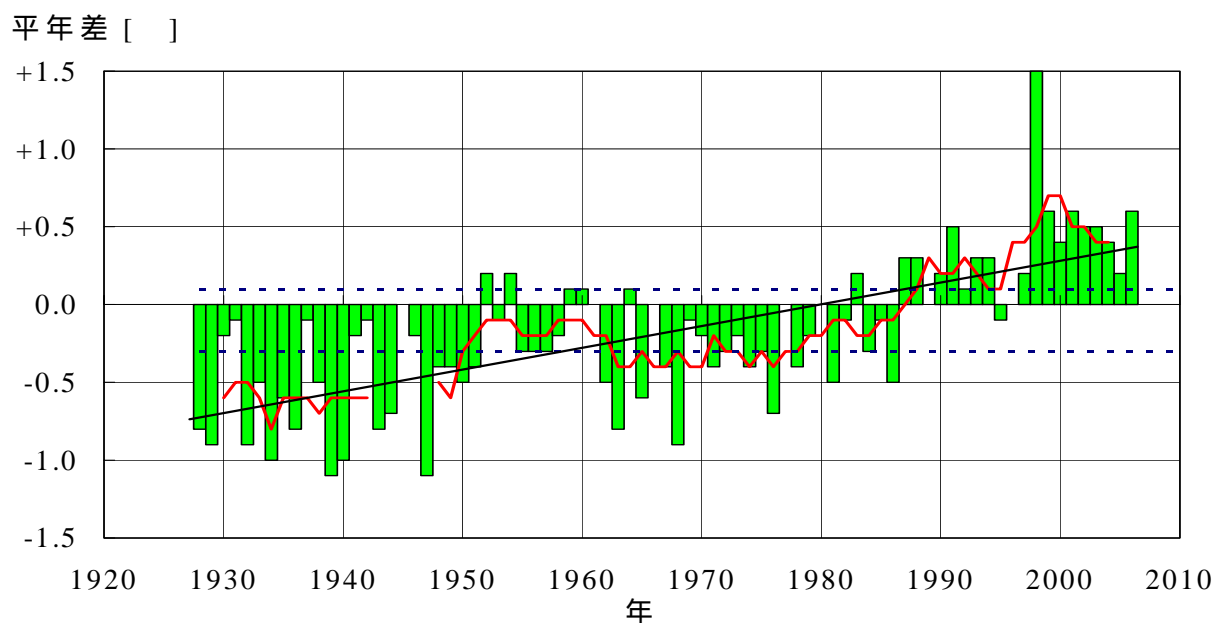


図3 沖縄地方における年平均気温の地域平均平年差の経年変化

[1928年～1944年及び1946年～2006年の78年間]

横軸は西暦[年]、縦軸は沖縄地方における年平均気温の地域平均平年差[]を示す。

緑色の棒グラフは各年の統計値、赤色の実線は各年の統計値の5年移動平均値、黒色の実線は各年の統計値の長期変化傾向、紺色の点線は平年並の下限(-0.3)と上限(+0.1)を示す。

【注】

沖縄地方の平均気温・降水量等の気象要素の地域平均平年差(比)は、那覇、久米島、宮古島、石垣島及び与那国島の5地点のうち2地点以上で観測値が存在する期間についてのみ地域平均を算出している。

(2) 年降水量

2006年の沖縄地方における年降水量の地域平均平年比は105%で「平年並」となった。年別の変化傾向(水色の棒グラフ)を見ると1960年頃までは100%を上回る年が多かった。5年移動平均(赤色の実線)を見ると1920年代の中頃から1960年代のはじめにかけては、15年～20年周期の変動が見られる。1970年以降は年々の変動が大きく、数年毎に極端な多雨や少雨となっている。

なお、1897年の統計開始以降の長期変化傾向(黒色の実線)には特徴が見られない(図4)。

平年比 [%]

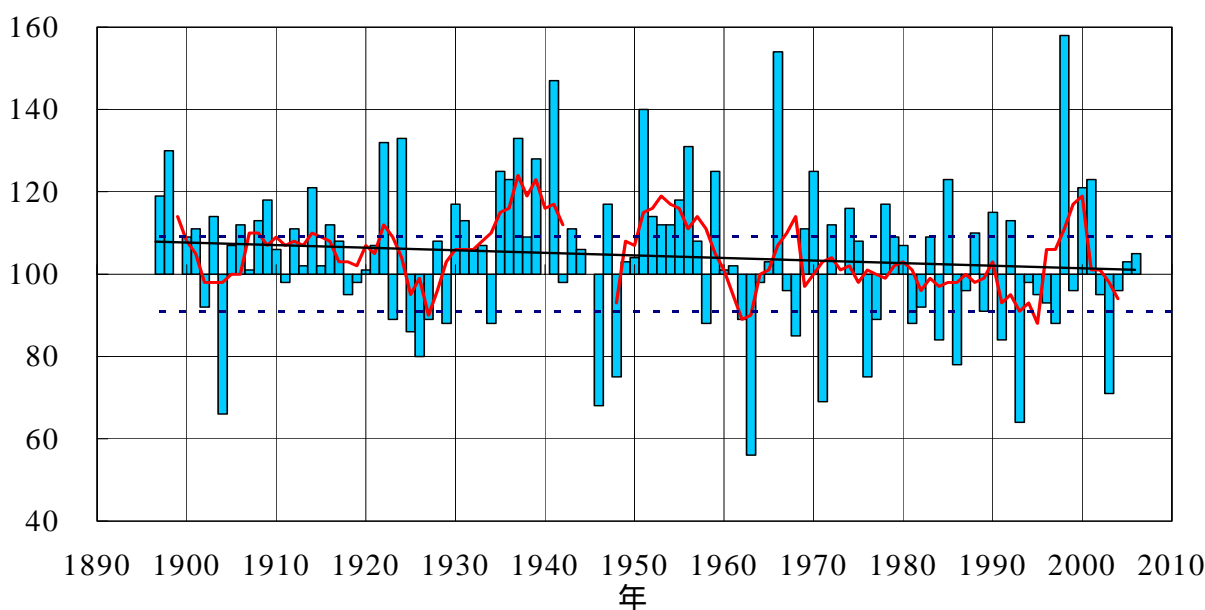


図4 沖縄地方における年降水量の地域平均平年比の経年変化

[1897年～1944年及び1946年～2006年の109年間]

横軸は西暦[年]、縦軸は沖縄地方の降水量の地域平均平年比[%]を示す。

水色の棒グラフは各年の統計値、赤色の実線は各年の統計値の5年移動平均値、黒色の実線は各年の統計値の長期変化傾向、紺色の点線は平年並の下限(91%)と上限(109%)を示す。

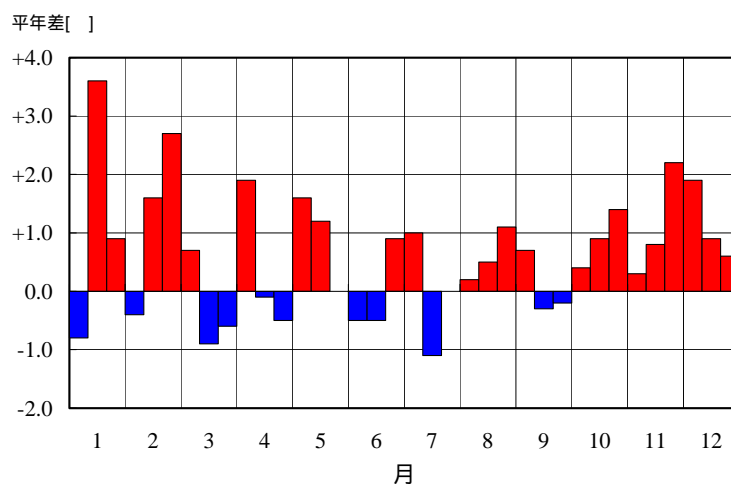


図5 2006年の沖縄地方における旬平均気温の地域平均平年差の推移 [1月上旬～12月下旬]
同一の月にある3本の棒グラフは左から順に上旬、中旬、下旬の地域平均平年差を表している。

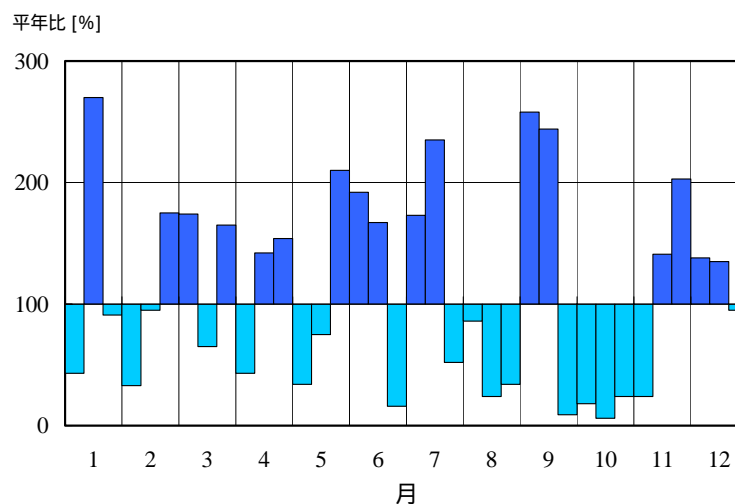


図6 2006年の沖縄地方における旬降水量の地域平均平年比の推移 [1月上旬～12月下旬]
同一の月にある3本の棒グラフは左から順に上旬、中旬、下旬の地域平均平年比を表している。

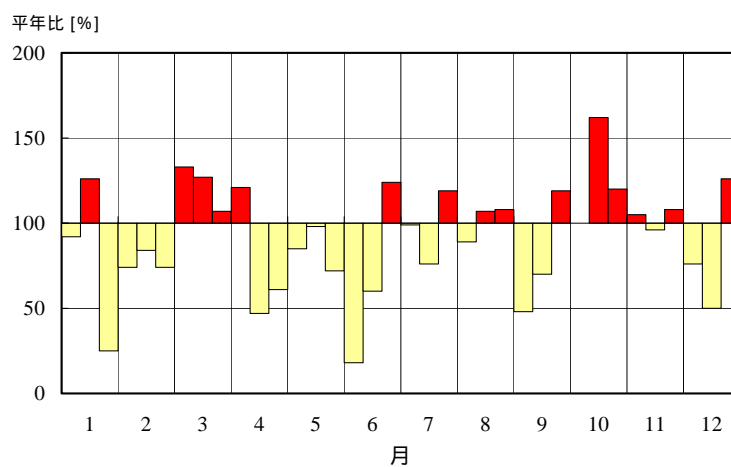


図7 2006年の沖縄地方における旬間日照時間の地域平均平年比の推移 [1月上旬～12月下旬]
同一の月にある3本の棒グラフは左から順に上旬、中旬、下旬の地域平均平年比を表している。

2 台風の発生数と接近数の経年変化

(1) 台風の年間発生数と沖縄地方への年間接近数

2006年の台風の年間発生数（赤色の細い実線）は23個で平年値を下回った。発生数の5年移動平均（赤色の太い実線）を見ると20数年程度の周期を持つ変動が見られるが、長期変化傾向は見られない（図8の赤色）。

2006年の台風の年間接近数（紺色の細い実線）は6個で平年値に近かった。接近数の5年移動平均（紺色の太い実線）を見ると年々の変動はあるものの変化傾向は見られない（図8の紺色）。

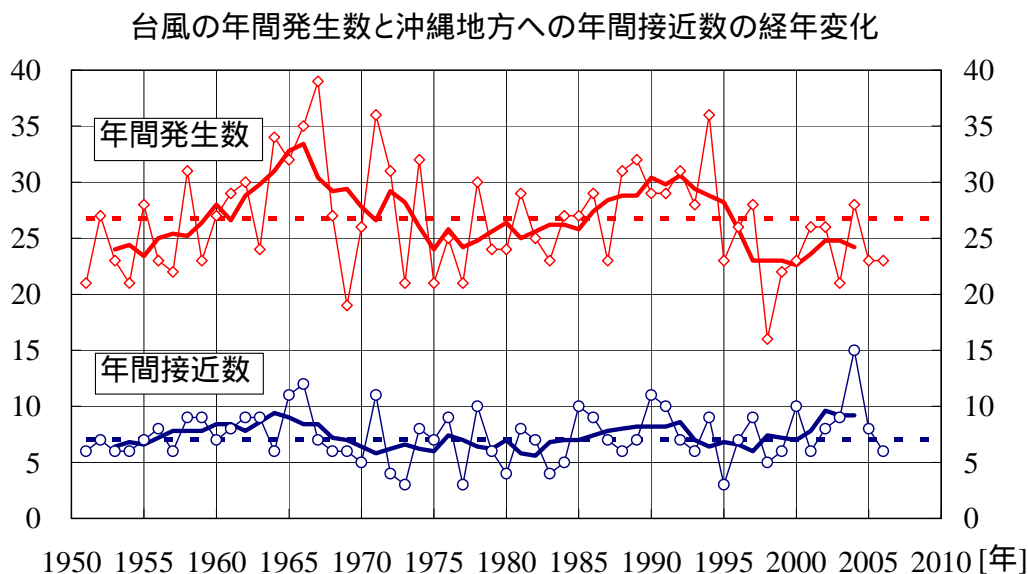


図8 台風の年間発生数と沖縄地方への年間接近数の経年変化 [1951年～2006年の56年間]

横軸は西暦 [年]、縦軸は発生数及び沖縄地方への接近数を示す。

赤色の菱形がついた細い実線は年間発生数、赤色の太い実線は年間発生数の5年移動平均値、赤色の点線は年間発生数の平年値（26.7個）を示す。また、紺色の丸印がついた細い実線は沖縄地方への年間接近数、紺色の太い実線は沖縄地方への年間接近数の5年移動平均値、紺色の点線は沖縄地方への年間接近数の平年値（7.0個）を示す。

表12 2006年の台風の月間（年間）発生数及び沖縄地方への月間（年間）接近数とその平年値

| 月 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 年間 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 台風発生数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 3 | 7 | 3 | 4 | 2 | 2 | 23 |
| (平年値) | (0.5) | (0.1) | (0.4) | (0.8) | (1.0) | (1.7) | (4.1) | (5.5) | (5.1) | (3.9) | (2.5) | (1.3) | (26.7) |
| 台風接近数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 6 |
| (平年値) | (-) | (-) | (-) | (0.0) | (0.3) | (0.6) | (1.5) | (2.3) | (1.4) | (0.8) | (0.5) | (0.0) | (7.0) |

注：計算過程に四捨五入を含むため、月の平年値の合計と年の平年値は一致しない。また、1個の台風が複数の月にまたがって接近する場合があるため、1月～12月の接近数の合計と年間接近数は一致しない。

1月～3月の月間接近数の平年値にある“-”は、平年値の統計期間（1971年～2000年の30年間）に台風の接近が1個もなかったことを示す。